

## 1. ごあいさつ 《2018年安全報告書の発刊にあたって》

平素は当社の鉄道事業に対しまして、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

まずは、本年6月に発生した大阪北部地震および7月に西日本を中心として発生した平成30年7月豪雨において被災された皆さまに対して、心よりお見舞い申し上げます。

大阪北部地震において、当社では震度5強を観測したため、全列車を緊急停止させるとともに、施設点検を行った結果、一部区間において電車への送電設備が損傷していることが判明しました。設備の復旧を行うとともに試運転による安全確認を行った後、21時過ぎに運転を再開しました。その間、お客さまには大変ご不便をおかけしました。大規模な自然災害が発生した際、お客さまを安全・迅速に避難誘導する方法や運転再開見通しに関する情報発信のあり方などに関して、新たな課題も生じたので、その解決に向けた検討・研究を進めてまいります。

当社は、2020年2月には開業50周年を迎えます。駅や車両などの主要な鉄道施設の老朽化が進んでいることから、近年、それら施設の修繕や更新投資の規模を拡大し、精力的に取り組んでいます。

2017年度における安全に対する具体的な取組としましては、ハード面においては当社全駅への可動式ホーム柵の設置をはじめ高架橋の耐震補強や9000系第4編成の新造、緑地公園駅のリニューアル工事などを行いました。一方、ソフト面においては、可動式ホーム柵設置に伴う各種マニュアルの策定や教育、訓練を実施し、駅ホームにおける安全性向上に努めました。

当社では、1970年の開業以来、有責事故ゼロを継続しており、安全文化の浸透と定着を図る取組を継続して行ってきております。新たに策定した中期経営計画（2018～2021年度）においても輸送の安全確保を最重要テーマとして掲げ、全役員・社員が一丸となって安全管理体制のさらなる向上を図ってまいります。

この報告書は、2017年度における輸送の安全確保のための当社の取組等を皆さまに広く知っていただくために作成いたしました。

皆さまのご意見やご感想をいただければ幸いです。



代表取締役社長 内芝 伸一